

目 次

第1章 よい意思決定とは何か	1
1.1 確率と意思決定の関係	2
1.2 意思決定に対して確率が与える影響	3
1.3 よい意思決定とは何か	8
1.4 複数の視点からよい意思決定を考える	9
第2章 表現の違いに影響を受けた意思決定	11
2.1 表現の違いに影響を受けた意思決定：フレーミング効果	12
2.2 確率情報の表現法の違い	14
2.3 言語確率の特徴	16
2.4 言語確率の方向性が意思決定に与える影響	19
2.5 言語表現に依存して変化する意思決定は本当に悪い決定 なのか	23
2.6 言語確率の方向性が意思決定に与える影響： 話者の会話行動からの再考	27
2.7 まとめ	31
第3章 経験則（ヒューリスティック）の“賢い”性質	33
3.1 ヒューリスティックが生み出す判断の誤り	34

3.1.1	典型例との類似性から考える： 代表性ヒューリスティック	34
3.1.2	思い出しやすさから考える： 利用可能性ヒューリスティック	38
3.2	ヒューリスティックはバイアスを生み出すのか	40
3.2.1	“知らない”を逆手にとる：再認ヒューリスティック	41
3.2.2	記憶経験に基づくヒューリスティック： 流暢性と親近性	51
3.3	ヒューリスティックはいつ使われるのか	54
3.4	経験則としてのヒューリスティックの有用性	61
3.5	まとめ	63
 第4章 忘れて、誤ることにより判断を生み出す		65
4.1	人はなぜ忘れるのか： 記憶容量の効率的活用という視点から見る人間の記憶 システム	67
4.2	忘れることが判断に与える影響： 認知モデリングの手法を用いた分析	71
4.3	記憶の誤り	80
4.4	記憶の誤りはなぜ生じるのか： 実世界の環境の性質からの分析	83
4.5	記憶の誤りは実世界の正確な理解を促す	87
4.6	まとめ	93
 第5章 “名は体を表す”，“数字の力” 一名前と数字が生み出すバイアス		95

5.1	名前が認知に与える影響	96
5.1.1	対象を判断や評価する人に名前が与える影響	96
5.1.2	名前がその名前の持ち主に与える影響	98
5.2	名前が認知に与える影響： 日本語における表記の影響	101
5.2.1	表記の違いによって生み出される異なる都市のイメージ	103
5.2.2	表記の違いが生み出す異なる果物のイメージ	104
5.3	数字が認知に与える影響	108
5.3.1	ラウンドナンバーの影響	108
5.3.2	ゾロ目の影響	111
5.4	まとめ	116
第6章 人をよい意思決定者にできるのか		
	ーナッジ, ブースト	121
6.1	ナッジ： バイアスを逆用して, よい判断, 意思決定に導く	121
6.2	本当に自由意思は反映されているのか： ナッジに対する批判的議論	130
6.3	ブースト： 人間がもっている認知的技量を高め, よい判断, 行動, 意思決定を引き出す	134
6.3.1	正確な確率的判断の促進	135
6.3.2	家族に健康的な食事を提供するための方法	138
6.4	ナッジとブーストの違い： 異なるターゲットと人間観	140
6.5	まとめ	144

参考文献	149
あとがき	158
索引	161

コラム①	言語確率の曖昧性が生み出す誤解	18
コラム②	連言事象の確率： リング問題における確率的錯誤について	37
コラム③	“Less is more” 効果の理論的背景	49
コラム④	モデルに基づく判断プロセスの分析	59
コラム⑤	ACT-R を用いた忘れることが判断に与える影響 についての分析	75
コラム⑥	記憶に基づく誤信念が判断に与える影響について の計算機シミュレーション	90
コラム⑦	仮想的なキャラクターの誕生日として設定される 日と実際の誕生日の比較	115
コラム⑧	名前の影響は本当に存在するのか： 批判的研究の紹介	118
コラム⑨	意思決定科学とノーベル経済学賞	128
コラム⑩	いつも初期値に留まるわけではない： 新型コロナウイルスの特別定額給付金の記入欄が ナッジすること	129
コラム⑪	バイズの定理	137
コラム⑫	ナッジの視点に基づく贈り物の「よい渡し方」と は何か	146